

災害に強い街づくりをめざして

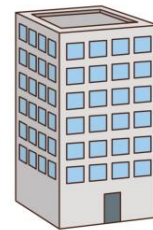
津波からの避難



『地震があったら、津波がくる！すぐ避難』
の心構えを日頃から持ちましょう。

◇海岸を離れ、とにかく高い場所へ避難

強い地震があったら、すぐに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難してください。逃げ切れないときは、**3階以上**の頑丈な建物をめざし、**3階**より上に避難してください。また、津波は河川を遡ります。より遠くではなく、より高いところに避難してください。



◇津波のスピードは速く、繰り返しやってくる

津波は2回、3回と繰り返し襲ってきます。1回目よりも2回目、3回目の方が高くなる場合もあります。すぐに避難して、津波警報や津波注意報が解除されるまで、海岸には近づかない。

◇隣近所で声をかけあい、徒歩で避難

隣近所の人たちと声を掛けあい、徒歩で高台に避難しましょう。自力で出られる人は、車の渋滞を避けるために車は使わないようにしましょう。



【津波警報・津波注意報】

| 警報時の種類 | 予想される波の高さ | とるべき行動 |
|--------|---|--|
| 大津波警報 | 高いところで 3m を超える場合 | ★揺れが収まったら、すぐに高台や津波避難ビルに避難！ ★沿岸部や川沿いにいる人はより高い場所を目指して避難を ★津波警報が解除されるまでは戻らない。 |
| 津波警報 | 高いところで 1m を超え 3m 以下の場合 | ★津波警報が解除されるまでは戻らない。 |
| 津波注意報 | 高いところで 0.2m を超え 1m 以下の場合 | ★ただちに海岸から離れる。 |

家族で防災会議

いざという時にあわてないよう、家族で定期的に話し合い、災害に備えましょう。

☆家族との連絡方法・集合場所の確認

- ・災害で家族がバラバラになった時の連絡方法、集合場所を決めておく。
- ・集合場所は複数想定して、優先順位を決めておく。

☆避難場所までの経路の確認

☆家族の役割分担（災害時の役割を決めておく）



【参考資料】

・北海道町内会連合会発行（防災ハンドブック）／一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会発行（防災ハンディガイド）